

乙訓圏域障がい者自立支援協議会
令和5年度 第1回人材確保・育成部会 会議録

日 時 令和5年6月26日(月) 10:00~11:25

場 所 乙訓保健所 講堂

出席者 9名

こらぼねっと相談支援センター、向陵会、障がい福祉センターあらぐさ、乙訓の里、
長岡京市商工会、乙訓保健所福祉課、向日市障がい者支援課(1名)、
長岡京市障がい福祉課、大山崎町福祉課

欠席者 3名

向日市社協障がい者地域生活支援センター、向日市障がい者支援課(1名)
障害者支援施設晨光苑

事務局 3名

傍聴者 2名

配布資料

- ・次第
- ・令和5年度人材確保・育成部会名簿
- ・令和4年度活動報告
- ・昨年度のチラシと見学体験計画
- ・新任職員連続講座

会議概要

事務局 ・現在 GM が不在なので基幹相談支援センターの山田が事務局をさせていただく。
・開催通知は2週間前に送るので確認願いたい。議事録はホームページ公開前に委員に内容を
確認していただくことになっている。

自己紹介(名簿確認)

1 部会長・副部会長の選出について

事務局 ・立候補、推薦があればお願いしたい。
・ないようなので、事前に乙訓ひまわり園の森井委員にお願いしている。

一同 ・承認の拍手

- 事務局 ・副部長は自立支援協議会の運営委員会から選出することになっている。本日は欠席だが、向日市社会福祉協議会の落合委員にお願いしている。
- 一同 ・承認の拍手
- 部会長 ・私自身は部会立ち上げの準備会から携わって今年度で4年目になる。本年度もよろしく願いたい。

2 昨年度の振り返りと本年度の進め方について

- 部会長 ・今までに取り組んできたことの形が整い、引き継ぐ先も明確になってきている。今年度で部会を終了する予定である。
- ・昨年度から継続参加の部会員が多いが、資料を参照しながら改めて、確認したい。
- ※「令和4年度活動報告」を読みあげながら説明
- ・意見、質問、補足はないだろうか。
- 委員 ・就職フェア後の反響はどうだったか。
- 事務局 ・当日、GMが各事業所からとりまとめた求人情報を紹介したが、その後各法人に問い合わせがあったかは把握できていない。
- 部会長 ・フェアをきっかけに見学などあった事業所はあるだろうか。
- 一同 ・ない。
- 部会長 ・すぐには結果に結びつかないが、ぜひ継続参加したい。
- ・行政から意見等あるだろうか。
- 委員 ・特にない。
- 委員 ・今年度が初めての参加なので意見はない。申し訳ない。
- 委員 ・概要の引き継ぎを受けた。人材育成が3年目というところでお話できるといい。
- 委員 ・特に補足等はない。

3 チラシの更新、見学体験計画の更新について

- 事務局 ・参加する事業所をまず当たりたい。どの範囲で募集をかけるのか。昨年度就職ガイダンスを保育専門学校で行った時に、やはり児童対象事業所に対する関心が高かった。チラシ参加している児童対象事業所がこらぼねっとだけだったので学生が集中した。児童通所事業所連絡会にも声をかけてはどうか。
- ・7月14日(金)にチラシ掲載事業所募集を締め切り、その後紙面更新作業に入る。8月中には完成させて印刷にとりかかりたい。
- 部会長 ・参加を呼びかける範囲はどうするか。昨年度は7法人の参加だったが増やしたい。基本的には今年度求人がある事業所限定とする。昨年と同様に乙訓障害者福祉事業所協議会と新しく児童通所事業所連絡会に声かけをしてはどうだろうか。特に意見がないようなのでこの形で進める。事務局から各団体に声かけをお願いする。
- ・掲載事業所数が増えると情報量が増えるのでチラシの構成を全面的に見直したいと思う。
 - ・表紙は福祉業界の魅力が伝わるような写真を掲載してはどうだろうか。
- 事務局 ・浜野委員により写真がないか依頼している。

- 委員 ・今日、何枚かは持ってきている。
- 部会長 ・「あなたと笑うしあわせ」というキャッチコピーは継続使用させていただきたい。これは「あらぐさ」で考えてもらったので、それにあう写真もないだろうかと事務局で打ち合わせた時に、キャッチコピーの話をしていて。表紙を作りかえたいがこの案でどうだろうか。
- 委員 ・当初は職員募集がありチラシに掲載されたが、途中で募集がなくなった時にはどうするか。
- 部会長 ・問い合わせがあった時に丁寧に対応させていただくのでいいのではないか。
- 事務局 ・チラシを見た方が法人に直接連絡されることもあれば、窓口である基幹相談支援センターに問い合わせがくることもあるだろう。その時、事業所にはつなぐので大丈夫だと思う。
- 委員 ・求人条件までチラシに掲載することは難しいと思うが、問い合わせ先に連絡しておいた方がいいだろうか。
- 事務局 ・詳細があれば助かるが、掲載事業所数とそれに伴う情報量が読めない。
- 委員 ・常に細かいことまで更新することは難しい。
- 事務局 ・問い合わせがあれば、事業所の見学をまず案内する。
- 部会長 ・表紙は活動風景とキャッチコピー等で内容を詰めて考えたい。
- 委員 ・「福祉に興味のある方 見学・職場体験できます」という文言はどうするか。
- 事務局 ・求人だけでなく見学職場体験もいいと思う。本日、ライトホープに西山短大の学生さんがひとり見学に行っている。
- 委員 ・私の法人は複数部署があるので求人がないところでも見学を受け付けると整合性が難しくなる。採用されると法人の職員になるが基本的には部署ごとで募集している。
- 部会長 ・スタート時点で求人がありチラシ掲載されても、途中で充足する場合もある。法人単位で載せて調整していただくのでどうだろうか。
- ・裏面は乙訓の地図に事業所の所在地を掲載していたが多くなると見にくくなる。シンプルに、法人名、住所、連絡先、事業所名が入る表にしてはどうか。各事業所が作成した動画のQRコードもそのまま載せる。
- ・7月中旬までには参加法人の決定、チラシを8月中に作成したい。次回部会開催が8月後半になるので先行して動く必要がある。浜野委員には入っていただいてワーキングチームを作って取り組みたい。後日お声かけさせていただきたい。

4 新任職員連続講座について

- 部会長 ・基幹相談支援センターが今年度から主催することになった。
- 事務局 ・後援という形で人材確保育成部会のお力をいただきたい。
- ※資料「新任職員連続講座」を説明。
- 部会長 ・研修第3回目の2市1町の担当は決まったのだろうか。
- 事務局 ・まだ打ち合わせ中で決まっていない。もう少し詰めてから報告したい。
- 部会長 ・開催方法は、対面か、それとも対面とWEBを併用するハイブリッドか。
- 事務局 ・対面での実施を考えている。
- 部会長 ・ここ数年、児童の事業所からの参加が多い。放課後等デイサービスの職員には参加しにくい時間帯の開催になっているので、配慮するなら講義内容を録画できるといいのだが。

- 事務局 ・ハイブリッドにするか、録画して編集するか。
- 部会長 ・去年はZOOMしながら録画して大変だったが、録画だけなら大丈夫か。
- 事務局 ・発言などを編集するのが難しく時間がかかった。内容によっては講義の部分だけにすることはできる。検討したい。
- 部会長 ・編集作業は大変だが、別の機会でも活用できるかもしれないので録画できるといいと思う。
・今年度は、オンデマンドはするかもしれないが、ハイブリッドはしないでいいだろうか。
- 委員 ・できるだけ顔を合わせて、横のつながりを期待したいので、対面がいい。
- 部会長 ・会場は最大何人ぐらい入れるか。
- 事務局 ・30人ぐらい。
- 部会長 ・他にご意見、ご質問あるだろうか。
・もし余裕があるようなら、講義内容を聞いた後グループで意見交換する時間がとれるといい。
・部会としてのバックアップはどのようにすればいいか。
- 事務局 ・まだそこまで想定ができていないので何かあったらお願いしたい。
- 委員 ・3週連続同じ曜日の開催なので、放課後等デイサービスの職員は参加しにくいと思う。同じ職員が抜けると子どもとの関わりに支障があるような気がする。
- 事務局 ・児童対象の内容なら午前開催がいいかとも考えたが、今年度の時間帯はほぼ決定している。録画して後日見てもらうことで対応したい。
- 部会長 ・次年度以降は日にちをずらすなど含めて、検討していただきたい。

5 就職ガイダンス

9月：西山短大1回生に向けて

- 事務局 ・西山短大は確実に9月開催となる。
・京都保育専門学校（以下、京都保専）に連絡をとると、校長先生と話をしますとのことでの返事待ちである。
・大阪保育専門学校に出向いて、去年の京都保専で開催した様子をお話してお願いをしてみた。好感触ではあったが、まだ返事はない。
- 部会長 ・昨年度京都保専で行った時と同様に、講堂のようなところで各事業所がブースを作って学生に来てもらうようにできるだろうか。
- 事務局 ・チラシ参加事業所数が確定してから考えたい。できれば昨年同様の形で行いたい。
- 部会長 ・たくさんの学生と話しができたのでぜひそういう機会になってほしい。引き続き事務局が窓口となって学校との連絡をお願いする。
- 事務局 ・昨年度、京都保専で就職ガイダンスをしてから、事業所には問い合わせがあっただろうか。
- 一同 ・なかった。
- 事務局 ・京都保専の学生にとってアンケートの反応がよく、来年度もがんばろうと思った。
- 部会長 ・当時の学生は今から就職活動なのでこれから反応があるかもしれない。種を蒔いておくのが大事だと思う。

6 就職フェアについて

- 委員 ・詳細はまだだが、今年度も年明けぐらいに開催を考えている。
 ・場所は、昨年度は桂川イオンであったが、例年はバンビオで行っている。どちらにするか迷っている。桂川イオンは女性の方が買い物ついでにのぞいて下さり、幅広い層の来場者が多く良かったが、場所が狭い。バランスが難しい。
 ・職業訓練の相談会があり、その場でハローワークと話のできたので良かった。福祉関係で職業訓練の場があるようなら、紹介いただきたい。
- 部会長 ・一般の方がヘルパーの資格を取ってから、就職にいとむようなことだろうか。
- 委員 ・活用している人もいる。
- 部会長 ・京都府社協で資格取得制度があったように思う。知らない人も多い。
 ・求職者から「資格が必要か」と聞かれると「なくても大丈夫」と答えるが、取得者の応募があればその方を優先的に採用したいとも思う。就職活動とともに資格取得を検討することはいいことだ。
- 部会長 ・今まで福祉職業の相談会はなかったのだろうか。
- 委員 ・あえて看板を立てることはなく民間でパソコンや CAD のスキルがあるのだがどうかという相談はあった。福祉関係はハローワークでは想定していなかった。もっと力を入れてもいいと思った。どんな訓練があるのか。
- 部会長 ・あるはずなので調べてみる。福祉を考えるきっかけにもなる。
- 委員 ・夏明けぐらいには場所を決めたい。商工会としては、来場者の層はイオンが良かったが、狭いので企業側はバンビオがいいのではないかと思う。
- 部会長 ・就職フェアもチラシや体験とつながる取組となるので、窓口は事務局にお願いしたい。

7 人材育成に携わる職員の意見交換会について

- 部会長 ・昨年度初めて企画したが、好評だったので今年度も計画したい。次年度以降はつながった関係性の中で、意見交換をしていただけるといいと思う。
 ・昨年度は人材育成の実践発表と参加者同士の意見交換だったが、今年度はどのようにしようか。
- 委員 ・私は発表もしたが、他事業所から取り入れたいことを聞いたので有意義だった。発表する法人があった方がそれを軸にして、その後話し合いがしやすいと思う。
- 委員 ・例がある方がその後の議論がしやすい。参加した事業所は課題を整理して帰ったと思う。その後の進捗の話ができると、前回と今回のつながりが持てて良い。
- 委員 ・他法人の方法について実践報告を教えてもらい参考になった。同じようにはできないが、やり方のてがかりを得られた。
- 事務局 ・小さい法人が忙しい中で研修内容について日々悩んでいて、合同で施設見学や研修ができればいいと話をしていて、お互いに刺激になった。
- 部会長 ・昨年度の流れを踏襲する意見が多く出た。いくつかの実践発表とそれをもとにした意見交換を今年度もしたい。
 ・時期的にはどうか、昨年度は11月だったが、新任職員連続講座が9月、就職フェアが年明けになるのでその間が良いかと思う。

- 事務局 ・対象や時間帯も意見いただきたい。
- 部会長 ・対象は昨年同様でいいのではないか。
- 事務局 ・昨年、児童通所事業所には声をかけただろうか。それなら時間帯は午前にした方がいいのか。
- 委員 ・チラシや就職ガイダンスには声をかけることにしたので同様に案内をした方がいいと思う。参加するかどうかは事業所ごとに考えればいい。
- 委員 ・昨年度の意見交換で立ち上げたばかりの事業所の方が必要と感じているようだった。声がかかることは大事だと思う。
- 委員 ・同意見である。広く声をかけて、参加するかどうかは任せるといい。
- 委員 ・まだイメージできないが、児童も同じようにできるといいと思う。
- 事務局 ・児童分野からの参加が多ければ午前中開催がありがたいだろうか。
- 委員 ・1時から3時なら児童分野も動きやすい。放課後等デイサービスは主に3時以降なので。
- 部会長 ・2時間は短かったか。
- 事務局 ・盛り上がっていたグループもあったが、それぐらいでいいのではないか。
- 部会長 ・では、乙訓障害者福祉事業所連絡会と児童通所事業所連絡会に声をかけ、11月に1時から3時までの予定で計画したい。実践発表をしていただく事業所はこれからあたりたい。開催に向けて中心になって動いていただく部員が必要になるが改めて声をかけたい。

8 その他

- 事務局 ・相談支援プロジェクトで土日開所できないグループホームによって生じる課題について、協議するワーキングチームが立ちあがっている。人材不足が問題としてあがり人材確保・育成部会で何か具体的な動きを求めることになるかもしれない。今年度で部会は終了することになっているが、不確定要素が現れるかもしれないと思っている。
- 部会長 ・人材確保についての取組はこの部会でいくつか考えてやってきた。どの事業をするにしてもそれを基本にして人集めをしていきたい。抜本的に新しいことをはかるのは難しい。
- ・来年度以降どこに何を引き継いでいくのかを明確にしたい。チラシ作成、更新、見学体験の計画の更新と希望者からの問い合わせ窓口、事業所との調整は基幹相談支援センターに引き継ぐ。商工会の就職フェア時のやりとりもあわせて基幹相談支援センターで。新任職員連続講座は今年度から基幹相談支援センターの主催となっている。就職ガイダンスも就職フェアと同様に基幹相談支援センターに各学校や専門学校との調整窓口になり参加事業所への募集もかけてもらう。人材育成に携わる意見交換会は、今年度部会で継続実施をして、次年度以降は部会でできた関係性をいかしてそれぞれの法人間でやりとりをしてほしい。

次回：8月30日（水）10時から 保健所講堂